



国際ロータリー 第 2500 地区 第 3 分区

Asahikawa Morning Rotary Club

2022～23 年度 第 1349 回 例会報告

例会日：2023 年 1 月 26 日（木）時間：7:30～8:15

例会場：旭川アートホテル 通常例会

2500 地区ガバナー

ともに紡ごう！ロータリーの未来へ
久木 佐知子（旭川西 RC）

RI会長：

ジェファー・E・ジョーンズ（アメリカ）

クラブ活動方針 『これまでの 30 年をこれからの 30 年に』

クラブ会長：大久保 昌宣・幹事 竹村 陽一

会長挨拶

大久保 昌宣 会長

皆さまおはようございます。

4 月から市立となる旭川大学が注目を浴びているとの記事を目にしました。昨年と比べて出願者数は 2.3 倍。出願者の居住地別では、上川管内を除く道内や道外が昨年より大幅に増え、市立化によって道内外の受験生の注目が集まっているようです。特に道外居住者は 56 人で 9.3 倍。倍率も厳しくなり経営経済学科では 8.1 倍、保健看護学科では 6.3 倍とのこと。

授業内容や部活は継続するそうですが、授業料は最大 6 割減となっていることも注目の理由の一つとなっているようです。

進学先を旭川以外になってしまうと、卒業後 U ターンするという選択肢は非常に少ないと感じています。

あくまでも現状の出願状況なので他大学へ合格者が流れてしまうということも考えられますが、進学をする若者が旭川に集まりまたは留まり、地元経済を牽引してくれることを望むばかりです。



会務報告

幹事 竹村 陽一

・本日は、ございません。

委員会報告

創立30周年記念 実行委員長 井上 雄樹

創立30周年記念テーマの公募について

日頃より会員の皆様には、ご協力を賜り有難うございます。
さて、前回（1月22日）の例会後の30周年実行委員会において、「テーマ」について検討をいたしました。その結果、皆様からテーマの案を公募することが決まりました。しかし、漠然としていて難しいので、当クラブがこれまでに行ってきた**命の電話、水資源の保護や飢餓対策**などの事業はいずれも「いのち」に関すること。ウクライナの戦争やコロナ禍で命の大切さをあらためて認識する時代であることから、テーマも「いのち」をキーワードにしたものにするということで決まりました。
そこで、皆様をお願いしたいのは、「いのち」をキーワードとして入れたテーマ案を考えていただき、次回の例会までに実行委員長宛に提出していただきたいということです。
当クラブのこれまでの活動と今後の活動を象徴するようなテーマを考えて頂ければ幸いです。
宜しくお願いします。



クラブ協議会

（五大委員会 後期活動について）

会 長 大久保 昌宜

後期は30周年記念事業に向けての準備を加速したいと思います。
5年前の25周年時の際には私自身積極的に協力できなかった分、今回の周年事業の勝手がわからず皆様にご協力とお願いばかりになり大変恐縮ではありますが、会員一致団結して成功裏に収めたいと思います。
また、30周年会員30名はまだあきらめておりません。私自身も増強に動きたいと思いますので皆様も知人やお仲間に声掛けいただければ幸いです。



クラブ管理運営委員長 坂本 信一

上期はコロナがまだまだ収まらない中で例会運営委員会・親睦委員会の皆さん会員の皆さんにご協力いただきながら上期無事休会することなく例会が開催出来たことに感謝申し上げます。

3年ぶりにリアルで10月に紅葉例会・12月にクリスマスパーティー・1月に新年交礼会を開催することが出来ました。

親睦委員会の皆さんありがとうございます。

下期もまだまだコロナも収まりそうもないですけれど、コロナも5類に移行する話も出ています。いよいよウイズコロナの時代になっていきますね。

うまくコロナと付き合いながら、下期は3クラブ合同夜間例会やゲストスピーチなど、出来るだけリアルで会員の親睦や楽しく学びが出来るように、例会運営委員会・親睦委員会の皆さんと相談しながら、例会運営に努めて参りたいと思います。これからは30周年に向けて準備で忙しくなりますが、会員の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



会員組織委員長 朝倉 直博

(竹村幹事代読)。

会員組織委員会の朝倉です。本日、自身でご報告できないことをお許しください。

会員組織委員会の後期活動をご報告させていただきます。木村会員増強委員長と河崎会員研修委員長には今もご尽力を頂いており感謝いたしております。

会員増強に関しては30周年までに会員30名を目指すことを目標にこれからも木村会員増強委員長と共に会員増加に向けて尽力してまいります。会員を増やすには先ず例会に来て頂くことが大事です。クラブの雰囲気や何をしている会なのかも分からなければお誘いもできません。先ずは、より多くの方をゲストとして呼ぶことを目標に今後も継続してまいります。また身近に会員希望またはロータリー活動に興味がある方は是非ご紹介頂ければ幸いです。会員研修委員としては、河崎研修委員長と共に今後も引き続き新入会員さんを中心とした研修活動を計画していきたいと考えております。また3月下旬には5年以内の会員を集めて「これだけは知っておきたいロータリーの基礎」として会員研修会を開催予定なのでご協力の程宜しくお願い致します。

以上、簡単ではございますが会員組織委員会の後期活動についてのご報告とさせていただきます。ありがとうございました。



広報IT委員長 谷地元 憲次

何とか半期が過ぎましたが、広報IT委員会の本来の深い意義は「さて」置き、専ら会報作りに奔走して参りました。毎週のことですから、自分が休会してしまいますと、例会のリアリティが得られず委員会メンバーに迷惑掛けてしまいますし、会報の作成においても、写真の掲載位置とか構成とかが難しくなってしまいます。MRC会員の皆さんから、お褒めの言葉を頂きますが、HPから御覧になる方がいらっしゃるのか、また、どのような評価をされているのかが心配です。

それでも自分なりに満足の感は有りますし、自分にプレッシャーを加えて期日までに間に合わせる！チョットした達成感・・・😊

初期での委員会活動計画書では、広報ITによるロータリーアンの意義や目的、また、ホームページへの掲載により各クラブの会員や以外の皆さんに興味と理解を得られるよう広告塔として努力するとしたのですが。現在も続くコロナ禍や物価高騰による社会経済においても、後期でのロータリーアン活動に力を注ぐとともに、2月から4月には他クラブの周年記念式典が行われることや、6月24日には旭川モーニングロータリークラブの30周年記念式典、祝賀会、記念観光、親睦ゴルフが賑やかに開催します。本当に楽しみでなりません。

後期も、この委員会を継続できていることに、会長、幹事をはじめ、会員の皆さんと事務局の協力を感謝いたします。後半も広報IT委員会のメンバー全員で、皆さんに喜ばれるよう努力して参りますので、これからご指導ご鞭撻をお願い致します。



奉仕プロジェクト委員長 武田 昭宏

○職業奉仕委員会委員長 河崎 高麗男



前期 2022年11月17日 職場訪問工場見学会
(CR4)
本社 旭川市工業団地にあります 正和電工(株)会社様に訪問いたしました。
製造と卸売の2つの事業でさまざまなお客様のための職場をモットーとして
います。水を使わず、水と汚さないバイオPL=バイオラックの清浄-販売
と手掛ける正和電工様。次々にアイデア商品と直み出し地域の
課題解決に貢献している会社です。
バイオPL=バイオラックの特徴は...水を使わずに...水の代りに
普通のおがくずを使って1月の全体量の約90%を占める水分は
蒸発し、残った有機物はおがくずの中で微生物が分解し、挿入した菌
は使用しない。おがくずは年に2、3回交換する位で、使用後のおがくず
には1年に含まれる無機物が付着しており肥料として活用できるという事で。
生ゴミの処理も可能で、1L室内の悪臭が、1層外の公園や動物園
バト会場や工場、工場、釜山道(富士山にも設置されています)
バト会場や海外の国内実証される予定です。

又農作物への悪影響を心配する農家の駆除のための体処分処理
不足は 野鳥の力は流通経路の確保におろす... とう処理が
能率の低さとはいえない。おと多の納入実績が認められています。
又 X-1 店車 骨の破砕車装置も開発中 ~ 近々発売予定の予定。
バットイレから出発して 正和電工の開発した多数の商品は幅広い
分野で活躍中です。

第2弾は、正和電工の社長が 2月16日例会に出席して
河崎 職業奉仕委員の計画を立案、しています。
2月16日例会日と お集まり。

○社会奉仕委員長 飯塚 達夫

社会奉仕は地域社会の安全安心なコミュニティを創造する。

一助とするべく活動を推進します。

又「ローラーの素晴らしさを伝える」役割の一端を担っています。

アラブ"とこの継続事業と点検し、時代のニーズに合わせた活動と
かけます。

具体的には

1. 安全、安心なコミュニティ創造の友会 (内容は
4月下旬 2. じみのホリダで 禁止啓発運動への参加。未定です)
5~6月頃 3. ホランティア活動への参加(公園遊具や公共施設備品等)

これらに加え、今年度迎える創立50周年記念の一環として、
相応しい社会奉仕事業と支援します。

6/24(土) 式典、祝賀会にて行われます。国歌斉唱・奉仕の理想

(参加全員) 式典の時

祝賀会の時終了時 午に午のあいでの合唱時にて

ソングダー、佐藤会長が定位置について、タクトを振ります。

このタクトは敬啓会員 篠のフコを贈呈にいただきました。

今年度の国際奉仕委員会と致しましては 2年前からJICAの蔓延が及び社会全体が委縮しました。この間の活動があまりにも

長くありませんでしたので今年度は良いのではと思いますが、他国との交流などでやはりJICAは恐ろしいので人の交流は避けたいと思いますが、支援を希望する所があまりに

時には、地区資金を活用して欲しいと思っています。と同時に 2022年度及び2023年度 R/2500地区国際奉仕委員会は、足立バスターにも平井の手合せで行っています。この報告させていただきます。

役員理事会 2022/10月20日(木)				
時間	タイ	プログラム	担当委員会	担当
8:15		チャンライの郊外地区における学校の水道設備・衛生の向上・衛生教育について	国際奉仕委員長	竹澤 元男

タイ → バンコクロケット
 ① グローバル補助金の活用 = 30社以上
 ② 地区資金 DDF (年度の5% (200) = 3000% = 45万 ~ 175万
 $13137 \times 3000 = 39411000$

青少年委員会の目的は、次世代を担う青少年の健全な心と身体の成長を促す事と言われておりますが、現在経済社会の不安、新型コロナウイルス感染症が蔓延してきているので、不安が活動ができていない現状であります。委員会としては今期の活動計画は下記にて実行を行いたいと思っております。

- ① 今年度は2500地区が自韓青少年交換事業受入の年度に、なるべく早くで、日韓の次世代を担う架け橋となるように努めます。
- ① 今年度、北見市で開催する ライナー RLYA セミナーに青少年と参加して、積極的に進める
- ① 子ども食堂に 高専 (高等学校生・大学生) などの 募金活動に積極的に協力して行きます。

